

Interview

楽団員インタビュー Vol.52

とにかくトランペットが 好き!

トランペット 松岡 恒介

Kosuke Matsuoka, Trumpet



◆楽器を始めたきっかけは?

中学1年生の時に、音楽室に遊びに行った際に吹奏楽部顧問から勧誘されました。その時に口元を見て「君はトランペットだ」と言われ、唇だけで音が出たのでマウスピースを渡されトランペットを吹く事になりました。そのまま飽きる事なくずっとトランペット一筋です。

◆そこから、オーケストラプレイヤーを 目指したきっかけは?

中学3年生くらいから音楽大学に行きプロになりたいと思い始め、オーケストラにも興味を持ちCDをよく聴くようになりました。そして音楽大学に入ってオーケストラを実際に経験し、その色彩豊かな響きに魅了され、オーケストラプレイヤーを目指すようになりました。大学卒業後、フリーランスとして様々なオーケストラに客演させて頂いたり、コンクールやオーケストラのオーディションに挑戦しました。そして山響のオーディションを知った時、以前管楽器雑誌で山響の金管セクションが特集されていたのを思い出し、古楽器も取り入れているあのオーケストラだ!となりました。当時から古楽器の演奏に興味もあり、このような活動をしているオーケストラに入りたいと臨みました。

◆好きな作曲家・曲は?

好きな作曲家は沢山で絞れませんが、好きな作品といえばチャイコフスキーの交響曲第5番、そして今回のバルトークの管弦楽のための協奏曲ですね。様々な楽器がセクションごとに協奏的に使われており、奏者達の妙技をお楽しみ頂けると思います。

◆トランペットの魅力は何ですか?

存在感のある音色。輝かしさ。そしてそれを遠くまで響かせる事が出来る事でしょうか。それでありながら柔らかな表現にも魅力を感じます。また、Jazzやポップス、映画音楽、演歌など、トランペットが出てくると…カッコイイですね。自分とはとにかくトランペットが好きなんです。

◆好きなトランペット奏者は?

沢山いますが、まずモーリス・アンドレ。まさに神様と呼

ばれる方です。初めて買ったトランペットのCDを中学生の頃からずっと聴いていて、本当に天から降ってくるような音です。マティアス・ヘフス、現代における最高の奏者の1人です。テクニカル、ニュアンス、どれをとっても素晴らしいです。そして、師匠の早坂宏明先生です。お人柄、音楽、尊敬と憧れです。少しでも近付けたらと思います。

◆使用している楽器について教えてください。

B♭管は、Vincent Bachの180ML37SPで、1992年頃に作られたものです。少し古い年代のBachの楽器の音が好きなので探して手に入れました。C管は、Vincent BachのC180L229SPに一部手を加えたもので、2003年頃の製造です。その他特殊管はYAMAHAが多いですね。

◆山形でお気に入りのもの、場所はありますか?

山形に来て9年ですが、まず驚いたのは食べ物がとても美味しい事です。お肉も最高に美味しいですし、スーパーや産地直売所で買う野菜も良いものばかりです。特に山形のラーメンやお蕎麦が好きで、好きなお店がいくつもあります。

◆趣味や特技はありますか?

趣味といいますが、楽器やマウスピースの事をネットで見るのが楽しいですね。普段のオーケストラで使うものだけではなく、アンサンブルや個人的にこういうのがあればこんな事出来るなあ…など考えながら探してみたり、たまにポチッと買ってみたり…あと昨年末から犬を飼い始めたので、一緒に過ごすだけでもとても楽しいです。「おすわり」や「お手」も出来るようになりました。遠出したり色々なところに連れて行ってあげたいです。

◆最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

いつも応援くださり、ありがとうございます。演奏会での皆様と一緒に空間や時間をいつも楽しみにしております。今年は山形交響楽団創立50周年を迎えるということもあり、さらに魅力的なプログラムで皆様をお待ちしております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。